

2023
広瀬しみず
ゆう・える

STATION ZU

「まちに気づく まちを築く とから清水 ～想いをミライに繋ぐまち～」

特集

ピョント **心弾む年に!!**

うさぎ 卯年生まれの子どもの抱負とは!?

ゆう・える

子どもから高齢者まで誰もが楽しめるスポーツ『チャレンジ・ザ・ゲーム』

写真 冬の地域応援企画～開町120年記念イルミネーション～

イルミネーションは御影多目的公園、御影神社、清水町ライオンスクエアで、2月14日まで開催中!!
うちゅんねるではイルミネーション動画を公開♪



2022 / Photo Album & Town Event

— 2022年を振り返る まちのアルバム & まちのできごと —

令和五年 未来に繋ぐ

新たにスタートした民泊やしみず認定こども園の誕生など、未来に向けた取り組みが少しずつ動き、ここから良い未来に繋がるまちづくりになればと思ひ、一筆させていただきます。【作：総務課 大内田菜摘】

令和3年10月「ミライに繋ぐ、ゼロカーボンとかち清水」を宣言しました。2050年のカーボンニュートラルを目指し、エネルギーの地産地消を目標に脱炭素のまちづくりを進めてまいります。本年4月からは、清水幼稚園としみず保育所を統合した「しみず



清水町長 阿部 一男

令和五年 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられていることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対する絶大なご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症対策については、医療ひっ迫を回避するため、ワクチン接種を始めたところ、感染防止行動の徹底を引き続き進めてまいります。同時に、社会経済活動を可能な限り維持

するため、町内経済の回復に努めてまいります。昨年、日本各地で自然災害による甚大な被害が発生しました。被害を受けた皆様には、お悔やみとお見舞いを申し上げます。本町が被災して6年が経ち、年月の経過とともに当時の記憶は薄れていきますが、災害はいつ、どこで発生してもおかしくありません。過去の災害を教訓に、皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。また、昨年は人舞村外一カ村戸長役場が開庁して120年を迎えました。多くの皆様と渋沢栄一翁ゆかりの地の方々をお招きして記

念式典を開催したことは、非常に喜ばしい限りです。栄一翁のフロンティア精神によつて、繋がることのできた埼玉県深谷市や東京都北区との連携を深め、積極的な交流を進めたいと考えております。さて、昨年の本町農業に目を向けますと、農業生産額は4年連続300億円を超えたものの肥料・飼料の高騰や牛乳・砂糖の消費低迷などがあり、農業経営は一変して厳しい状況となりました。今後も国や道に支援策を強く要望してまいります。また、本町農業の更なる発展へ向け、自動操舵システム等スマート農業についてもより一層の推進を図ってまいります。観光施策では、AirbnbJapan（エアビーアンドビージャパン）株式会社と包括連携協定を結びました。清水の暮らしを体感できる「まちまるごとホテル」の取り組みを更に進めてまいります。令和3年10月「ミライに繋ぐ、ゼロカーボンとかち清水」を宣言しました。2050年のカーボンニュートラルを目指し、エネルギーの地産地消を目標に脱炭素のまちづくりを進めてまいります。本年4月からは、清水幼稚園としみず保育所を統合した「しみず

認定こども園」が誕生します。子育て支援策の充実を図り、安心して育てられる環境づくりに努めてまいります。取り組むべき課題は山積しておりますが、第6期清水町総合計画が目指す町の将来像「まちに気づく・まちを築くとかち清水」の実現をミライに繋ぐまちづくりの実現に向け、皆様が豊かさを感じられるまちづくりを推進してまいります。そのためにも、皆様との対話を重視した協働のまちづくりを全力で行ってまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、今年一年が皆様にとって、すばらしい年となることをご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

5月 #勝利は笑利〜83人のWA!!〜 # Take a new step! ~新たな1歩を踏み出せ!~

町内中学校2校の体育祭が、2年ぶりに開催されました。3年生は今回が初めて最後。全力で取り組んでいました。

2月 #冬の地域応援企画 #幻想的な光の空間

御影青年部平成OB会主催のアイスキャンドル点灯では、御影多目的公園・御影神社に、300個の光が輝きました。

1月 #まちぐるみの取り組み #乳製品消費拡大

「みんなでMILK飲んで・食べて消費拡大プロジェクト」がスタート! 3月まで、購入イベントが開催されました。

8月 #初の北海道コンクール #21人の力を合わせて

清水ジュニアプラスバンド団員21名が、創設以来、初めての北海道吹奏楽コンクールへ出場を決めました。

8月 #念願のヨーヨー釣り #夏の思い出

3年ぶりに「清流まつり」が開催。ヨーヨー釣りなどのイベントが準備され、当日は多くの町民でにぎわいました。

7月 #みんなでまちおこし #親子でプロレス観戦

プロレス・コンサート・花火大会と、開町120年を記念したイベントが続々開催。大盛り上がりの夏となりました。

6月 世界大手の民泊仲介サイト「AirbnbJapan（エアビーアンドビージャパン）株式会社」と包括連携協定を結びました。町の民泊事業が本格的に始動し、阿部町長宅が民泊先として登録されました。

4月 町内農村地域に光回線が開通し、町内全域での光ブロードバンドサービス提供が始まりました。安定したインターネット環境が整ったことで、農業分野などでの発展が期待されます。

9月 御影地区で「みかげ秋まつり」が3年ぶりに開催されました。会場には、金魚すくいなどの屋台が並び、大道芸人ぼびーが出演するなど、当日は大勢の町民が訪れました。

3月 渋沢栄一誕生の地である埼玉県深谷市の八基（やつもと）小学校の児童と、清水小学校の児童が、初のリモート交流を行いました。お互いの学校や地域について紹介しながら、交流を深めました。

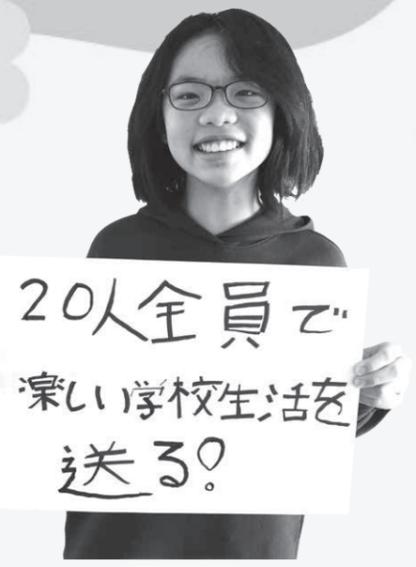
7月 鈴木直道北海道知事による「なのおみちカフェ」が町アイスアリーナで開催。地域の創意工夫ある取り組みとして、御影アイスホッケーアカデミーなどについての意見交換が、町長らと行われました。



御影小学校
みつい
光井 れい さん



御影小学校
しみず みさき
清水 美咲 さん



御影小学校
むた いぶき
牟田 衣吹 さん



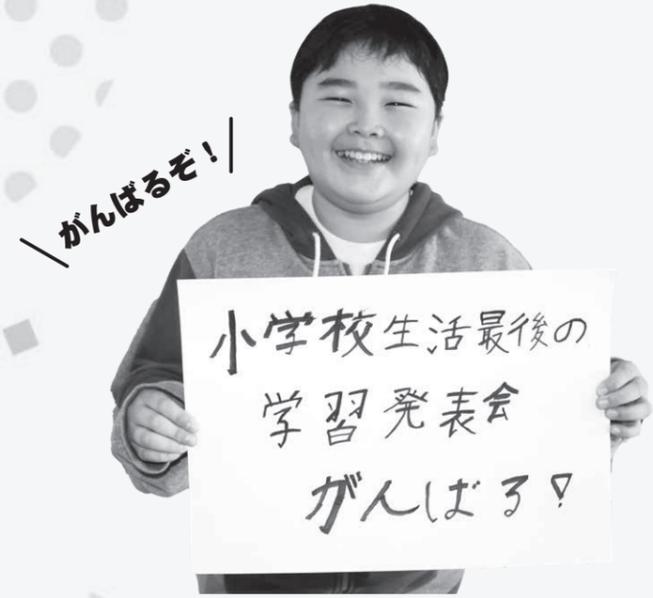
清水小学校
たかだ ゆあ
高田 結愛 さん



清水小学校
いとう りさ
伊藤 里彩 さん



清水小学校
のぐち りお
野口 凜音 さん



御影小学校
ののむら けんせい
野々村 健誠さん

新春企画 ピヨ 心弾

うさぎ
2023年は卯年です! 清水・御影
「2023年の目標・頑張りたい

しっかりと がんばるぞ!! 2023 令和五年

うさぎ
小学校の卯年生まれの5年生たちに、
「こと」を書いてもらいました!



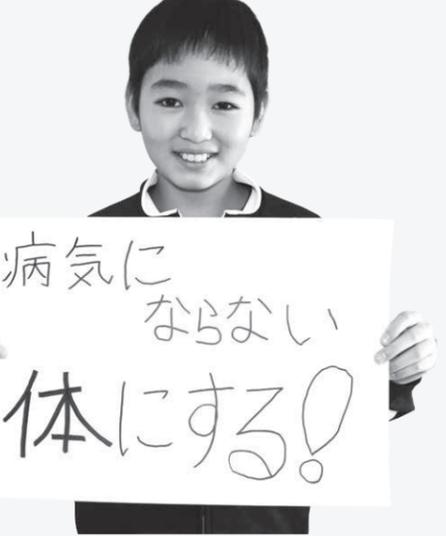
清水小学校
にし
西 あゆみ さん



御影小学校
みやざき けいこ
宮崎 慶子 さん



御影小学校
やまもと りみ
山本 梨未 さん



御影小学校
いのうえ りお
井上 凜央 さん



清水小学校
ふしえ
伏江 すみれ さん



清水小学校
ふしえ
伏江 りら さん



清水小学校
いけもり なゆ
池守 乃優 さん



冬～厳しさに生きる 人の中で 共に磨く

幼保・小連携事業 年長児保育参観とお話し会(懇談会)開催

来年、新一年生になる年長児の保育参観と年長児保護者とお話し会が開催され、小学校からは学校のことや小学校生活のことを、教育委員会からは新一年生の親としての心得や本町の教育に関する情報等について説明が行われました。

今回、本町が目指す教育の姿を知っていただいたうえで、新一年生となる子どもたちが安心して小学校に入学するために必要な準備を、親子で一緒に取り組んでほしいと思います。



御影こども園



しみず保育所

社会教育団体紹介

『高須クリニック御影グレッズ』



当団体は1987年創部、今年で35年の歴史あるチームです。女子アイスホッケー選手の育成を通じて地域のアイスホッケー人口拡大を図り、さらには世界に羽ばたく選手を育てています。

過去にも数多くのU18日本代表選手やオリンピック日本代表選手を輩出し、今シーズンもU18と日本代表候補の合宿に招集されています。全日本女子とスマイルリーグに照準を合わせ中学生から社会人の幅広い年齢層で活動しています。

- 活動日時 6月～翌年3月末
- 活動場所 清水町アイスアリーナ
- 持ち物 防具一式、スティック
- 問い合わせ 太田 博樹 (☎090-1528-7561)

図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

読み逃していませんか？2022年ベストセラー (日本出版販売株式会社調べ)

【総合1位】『80歳の壁』 和田 秀樹著

80歳を目前に、寝たきりや要介護などの「壁」を乗り越え、長生きするよりも元気であることを提案した内容が読者の心を掴み、新書ながら堂々の総合1位となりました。

【総合2位】『人は話し方が9割』 永松 茂久著

【総合3位】『ジェイソン流お金の増やし方』
厚切りジェイソン著

緊張関係が続く世界情勢などを背景にモノやサービスの価格が高騰し、少しずつ私たちの生活に影響が出始めた2022年。そうした状況を反映してか、今回の年間ベストセラーでは、自身のミライに訪れる「老後」、自分らしい「生き方」、そしてそれらを支える「お金」といった、より生活に身近なテーマに関連する作品が関心を集めたようです。

なお、こちらの3冊は図書館で所蔵しています。読み逃していた！という方は、2023年の読書初めにぜひ読んでみてください。

新着図書からピックアップ



『岩合光昭の日本ねこ歩き』

岩合 光昭著

東大寺などの観光名所から名もなき路地、会社の引き出しなど、日本各地のネコがいる風景を切り取っています。ネコの撮影をライフワークとしてる著者ならではのリラックスしたネコの姿が魅力的な一冊です。

十二支には選ばれていませんが、ここはあえて新年最初の読書にオススメします。

『旅行鞆のガラクタ』 伊集院 静著

『黒石一へいし 新宿餃7』 大沢 在昌著

『心霊探偵八雲 幽霊の定理』 神永 学著



おすすめの本・新着図書の情報などは、図書館ホームページからご覧いただけます！ホームページは左のQRコードまたは「十勝 清水 図書館」で検索してみてください！

子どもから高齢者まで誰もが楽しめるスポーツ 『チャレンジ・ザ・ゲーム』

町教育委員会では、体力づくりの楽しさを広め、町民ひとり1スポーツをめざして、気軽にできる軽スポーツの普及を図るため「チャレンジ・ザ・ゲーム講習会」を実施しています。

今年度は計3回の開催を予定しており、令和4年11月20日に第1回目が開催されました。今後、第2回目と第3回目をそれぞれ開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

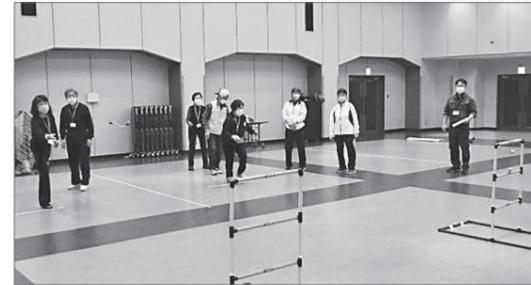
【開催予定】

- 第2回目：2月5日(日) 御影公民館
- 第3回目：3月5日(日) 文化センター

チャレンジ・ザ・ゲームとは…?

チャレンジ・ザ・ゲームとは、日本レクリエーション協会が推進している『新感覚』のスポーツ・レクリエーションで、グループで交流を楽しみながら身体を動かします。ボールや縄、棒といった用具を使ったユニークなゲームがたくさんあり、遊び感覚で身体を動かすことができます。指導や用具の貸出も行っておりますので、この機会に体験してみませんか。

『スピード・ラダー・ゲッター』



専用のひも付きボールを投げて3本のラダー(はしご)にボールをひっかける速さを競います！

『ペア・リングキャッチ』



向かい合った2人が3つ以上のリングをまとめて投げ合い、トータルでいくつのリングをキャッチできるかを競います！

『キャッチング・ザ・スティック』



スティックを2本持って横一列に並び、掛け声に合わせて自分のスティックを離して隣の人がキャッチ出来れば成功！思いやりが大事です！

『ディスクン』



2チームに分かれ、的に近づくようにディスクを投げます。ルールがカーリングに似ていることもあり、戦略を練るのが勝利の鍵となります！



『地域包括支援センター』

【問い合わせ】
保健福祉課在宅支援係
☎69-2233

②総合相談
高齢者やご家族、地域の方々からの各種相談に対応しています。相談者の困ったことに対して、介護保険サービスや清水町独自の在宅福祉サービス等の紹介等を行い、問題解決のお手伝いをしています。また、医療機関と連携し、

④包括的、継続的ケアマネジメント
暮らしやすい地域にするために、地域全体の医療、保健、福祉分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークを作り、地域で生活する高齢者の課題解決や調整を行います。具体的には、地域ケア会議（専門職が定期的に集まる会議）の開催や、ケアマネジャーへの個別相談、支援困難事例への対応やアドバイス等を行っています。

①介護予防ケアマネジメント
要介護認定で要支援と認定された方や、事業対象者として決定された方を対象に身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活を継続できるように介護予防を目的とした支援を行います。

③権利擁護
高齢者の方が安心して生活できるように、その方が持つ権利を守ります。身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト（介護の放棄や放置）、性的虐待、経済的虐待等に対応しています。

④包括的、継続的ケアマネジメント
暮らしやすい地域にするために、地域全体の医療、保健、福祉分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークを作り、地域で生活する高齢者の課題解決や調整を行います。具体的には、地域ケア会議（専門職が定期的に集まる会議）の開催や、ケアマネジャーへの個別相談、支援困難事例への対応やアドバイス等を行っています。

③権利擁護
高齢者の方が安心して生活できるように、その方が持つ権利を守ります。身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト（介護の放棄や放置）、性的虐待、経済的虐待等に対応しています。

地域包括支援センターとは？

高齢者の健康面や生活全般など、地域に密着した総合相談窓口です。清水町では保健福祉課に設置しており、高齢者を支える方が利用することができます。

①介護予防ケアマネジメント
要介護認定で要支援と認定された方や、事業対象者として決定された方を対象に身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活を継続できるように介護予防を目的とした支援を行います。

②総合相談
高齢者やご家族、地域の方々からの各種相談に対応しています。相談者の困ったことに対して、介護保険サービスや清水町独自の在宅福祉サービス等の紹介等を行い、問題解決のお手伝いをしています。また、医療機関と連携し、

④包括的、継続的ケアマネジメント
暮らしやすい地域にするために、地域全体の医療、保健、福祉分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークを作り、地域で生活する高齢者の課題解決や調整を行います。具体的には、地域ケア会議（専門職が定期的に集まる会議）の開催や、ケアマネジャーへの個別相談、支援困難事例への対応やアドバイス等を行っています。

②総合相談
高齢者やご家族、地域の方々からの各種相談に対応しています。相談者の困ったことに対して、介護保険サービスや清水町独自の在宅福祉サービス等の紹介等を行い、問題解決のお手伝いをしています。また、医療機関と連携し、

④包括的、継続的ケアマネジメント
暮らしやすい地域にするために、地域全体の医療、保健、福祉分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークを作り、地域で生活する高齢者の課題解決や調整を行います。具体的には、地域ケア会議（専門職が定期的に集まる会議）の開催や、ケアマネジャーへの個別相談、支援困難事例への対応やアドバイス等を行っています。

清水歴史探訪

「清水町の歴史あれこれ②」
「農志塾と近藤兼市」

宇勝清水郷土史研究会 監修

【28】

札幌で僧侶の家に生まれた近藤兼市は、札幌師範学校を出て、大正10年に市立豊水尋常高等小学校に赴任。そこで目や耳が不自由な子供たちに出会い、その教育にあたりました。幼い頃は虚弱体質で、自らも吃音で苦労した近藤は、障がい児教育に情熱を傾けました。

大正14年、豊川稲荷札幌別院の境内を借り、本格的な聾唖教育機関として「北海道吃音矯正学院」を設立し、その代表に就任。障がい者教育の道を歩み始めました。

その後、盲児教育施設と統合して「私立札幌盲唖学校」となり、太平洋戦争の空襲を避けるため、大正19年に河西郡御影村（現清水町御影）に移りました。

近藤は「障がいのある人たちが差別と偏見の眼にさらされず、同じ境遇の人たちの自給自足の共同

体（楽土建設）」を構想していました。その考えは、近藤の知人を通じて、芽室村の栗林元二郎に伝わります。

栗林は、農業専門学校「八紘学園」の創設者で、分村した御影村の状況に詳しく、ここを疎開先の適地と見込み、御影村の吉雄與市村長に受け入れを要請します。そして村議会と御影村民の理解を得て、人口4,500人の御影村に児童・教師ら227名の楽土「北海道聾唖農志塾」が誕生するのです。

その後、台風による施設全壊や認可名称変更などがある中、近藤は腹膜炎を患い昭和22年11月28日、志半ばで51年の生涯を終えました。近藤が始めた「農志塾」の名称とその活動は、現在も『社会福祉法人清水旭山学園』の「農志塾」として引き継がれています。



近藤兼市 肖像写真

・文責 北村 光明
（十勝清水郷土史研究会）

作文で税に関する理解を深めよう！
税についての作文コンクールが開催されました！！

国税庁・全国納税貯蓄組合連合会が主催する「税についての作文」コンクールで、清水中学校・御影中学校の生徒6名が賞を受賞しました。このコンクールは、全国の中学生を対象に、税に対する関心を高め、正しい理解を深めることを目的に実施されています。12月19日と22日には各中学校で授賞式が行われ、受賞した生徒6名へ賞状・副賞が授与されました。



清水中学校授賞式
写真左から、泉さん、鎌田さん、笠井さん、松橋校長



御影中学校授賞式
写真左から、森校長、中嶋さん、竹中さん、森田さん

受賞したみなさん

※敬称略

清水中学校3年生
笠井わか葉
鎌田 倅
泉 映南

御影中学校3年生
森田菜那瞳
竹中 愛
中嶋 芽衣

健康
最前線

ご存知ですか？『粘膜ケア』

ポイント①は、だ液の働き



清野 智美 歯科衛生士

歯科では、むし歯や入れ歯の治療以外にも、口内炎や口腔乾燥といった口腔内の粘膜も治療領域に入ります。口腔粘膜には無数の小さな唾液腺があり、さらさらしただ液を分泌しています。頬や唇と歯がくっつくことなく滑らかに動き、食事や会話を楽しめ、自在な表情を作ることが出来るのは、口腔内が常に潤っているからです。また、この粘膜から、全身の健康状態を推測することもできます。

普段気にすることのない口腔粘膜ですが、高齢になると汚れが溜まりやすく、全身の病気の原因になることがあります。通常、健康な人は嚙んだり話したりすることで、舌や唇、頬が動き、よりだ液が出て汚れを洗い流す自浄作用が働きます。総入れ歯で自分の歯が無い方や、経管栄養など口から食べられない方の場合、口腔ケアは必要ないと誤解されることが多くあり、「誤嚥性肺炎」の原因となっています。

だ液の少ない口腔粘膜は、新陳代謝によって剥かれた細胞や痰な

どの汚れが溜まることで細菌が繁殖します。また、入れ歯を使っている部分に沿って汚れが付きやすく、麻痺がある場合には、麻痺側の口腔粘膜に、たくさん食物残渣が付きます。食べていないからこそ、『粘膜ケア』をして「誤嚥性肺炎」を防ぎましょう。

お口は、嚙んだり飲み込んだりと、様々な機能が総合的に働いています。例えば、歯が1本無くなっただとしても食事が出来なくなるわけではないため、機能低下を自覚するのは難しいものです。そこで、定期的に歯科医院を受診し、自分のお口の健康と機能をより良い状態にしておきましょう。こうしたことが、オーラルフレイル（お口の虚弱）予防、ひいてはフレイル（全身の虚弱）予防につながります。

「よく噛む」「たくさん話す」「口腔体操」をして、きれいなお口の中に、だ液をたくさん出し、「健口」に過ごしましょう。

人口 9,047人(±0)
男 4,483人(-1) 女 4,564人(+1)
世帯数 4,685(±0)
令和4年12月末現在()は前月比

1/16	月		2/1	水	■エントランスホール展「村上俊彦油彩画展 身近な静物画」～27日まで(図書 10時)
17	火		2	木	
18	水	■除籍済み資料・雑誌の無料提供 ～23日まで(図書 10時～18時)	3	金	
19	木	■運転免許更新時講習(文セ 優良 13時30分、一般 14時30分、違反 16時)	4	土	■歩くスキー講習会(有明公園多目的広場 10時) ■町民スケート大会 (御影公園多目的広場スケートリンク 9時)
20	金		5	日	■チャレンジ・ザ・ゲーム講習会(御支 10時)
21	土	■おはなし会(老人福祉センター 13時30分)	6	月	
22	日		7	火	
23	月		8	水	
24	火		9	木	
25	水		10	金	■町民と町長のふれあいトーク(役場 9時)
26	木		11	土	■歩くスキー講習会(有明公園多目的広場 10時) ■しみずっこ地域食堂(老人福祉センター 11時)
27	金		12	日	
28	土	■おはなし会(図書 11時30分)	13	月	
29	日		14	火	
30	月		15	水	
31	火				

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校



賞品贈呈の様子

町長の日記
長嶺和さんに特賞贈呈！
12月21日、令和4年度の牛乳消費拡大キャンペーンで、特賞に当選した長嶺和さんに賞品を贈呈した。
このキャンペーンは「酪農のまち清水町」を全国にPRするとともに、牛乳の消費拡大を目的として毎年実施し、今年30回目。長嶺夫妻は毎日1リットルの牛乳を飲んでおり、今回も5口の応募で、初の特賞当選となった。
最近「健康」を切り口に、新たな牛乳のアピール手法が続々登場している。「スゴいぞ！牛乳。飲んだら、ええよ。」もその一つ。
暫くぶりにお会いした長嶺さん、87歳とは思えないほど元気。この元気の源は、きつと牛乳だ。

あとがき

みなさん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。お正月はいかがが過ぎましたか？さて、今月号では、小学校5年生のみなさんに会いに行ってきました。素敵な笑顔に囲まれて、楽しく撮影させていただきました。みなさんが20歳を迎える時、また私が広報係に配属されたら、成長した姿を取材できるのか!!と、縁を感じる未来に、わくわくしながら紙面を作りました。(谷口)

■あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。年が明け、すでに中旬を迎えていますね。今年につきましても、広報紙の作成を通して、清水町で実施されたことなどを発信していきたいと思えます。みなさんには、取材などでご協力いただくと思いますが、これからもお思いしますので、今後ともよろしくお願いたします。(中澤)

インフォメーション

誕生

佐々木 椋羽(忠光/千裕)
福原 朱理(英之/章子)

哀悼

山本 禮悦(さん) 日の出3
吉國 浪子(さん) 奉賛
鈴木 宗吉(さん) 曙
小助川 義朗(さん) 清和1
須藤 忠男(さん) 若松団地
平田 義人(さん) 日光
安曇 達雄(さん) 北2条
大塚 益男(さん) 中熊牛2
石川 秀範(さん) 西文化
岩野 正明(さん) 西文化
本田 富士子(さん) 本通2



広報モニタリング

★洪沢栄一翁の故郷への町民ツアーと献花式の様子が詳しく伝わった。記念館のアンドロイド講義などは興味深く、清水の歴史とともに、新1万円札発行前の理解が深まった。
★町民ツアーに参加した3名の方の感想文が、大変良いと思う。
★町民ツアー写真の掲載意図が分かるように、コメントがあると思う。写真の効果が半減していると感じた。
★町民の声ポストの要望と回答の簡潔なやり取りが、分かりやすく良い。今後継続して欲しい。
★90年前、御影小に赴任した加藤光也先生が、アイスホッケー選手だった自身の経歴を生かしスケート指導に力を注ぎ、今の清水アイス

ホッケーが存在することが分かった。
★加藤光也氏がアイスホッケーの活動に尽力されたことを知った。種を蒔き続けることの大切さや、強い信念を貫く勇気を持ち続けた加藤氏の存在が、今につながることに感銘を受けた。
★他者との適切な距離は、コロナの影響でパーソナルスペースが広がっていることが分かった。今を生きている私たちだが、相手との関係や距離感を今一度確認してみようと思った。
★福祉のひろばを読み、更生保護女性会の存在を知ることができた。
★じょうほうかわらばんでは、毎日のようにイベントなどがあり、今後も活気ある町づくりが必要だと感じた。
★両地区の芸術文化祭の様子が、たくさんの写真で伝えられていて良かった。
★芸術文化祭の開催により発表の場があることを、うれしく思った。
★役場保健師が、定期健診以外で日常の様な仕事を行っているのか紹介して欲しい。

ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌

【玲瓏短歌会】
霜枯れの庭は落ち葉で山積す
焦らず残りは雪の下とす 田村徳子
見渡せば日高山並み照り映えて
この身も澄みし十勝晴れなる 宗像三郎
またひとつ看板消えし街並みに
寂しさ残す通りを歩く 大石 尚
霜月も終り近づく冬將軍
卒寿の吾れに大なる課題 藤原静子
わずかとて積もる雪なかキンセン花は
首まで埋もるも生をはげます 森山ヤヨイ
枯れし葉に足からませて走り出す
愛犬は鼻も足も冷たく 村谷三恵
千葉の友の「文芸しみず」を拝読と
吾れの名見つけ便りを呉れり 安済哲子
街に在る「有楽町」は銀座通り
われら青春有楽町で逢いましょう 橋本佳代子



12/1

図書館エントランスホール展で、いくもとみえこさんによる猫のパステル画展「ねこ科ミニ図鑑」が開催されました。



12/10

年内最後の「しみずっこ地域食堂」が、町老人福祉センターで開催され、65食分のポトフなどが提供されました。



12/10

「新得地方地域安全少年柔道・剣道大会」が町体育館・柔道場で3年ぶりに開催され、62名の子どもたちが、熱い戦いを繰り広げました。



12/13

町商工会女性部より、町内保育施設3か所へ、220名分のお菓子入りクリスマスプレゼントが届けられました。



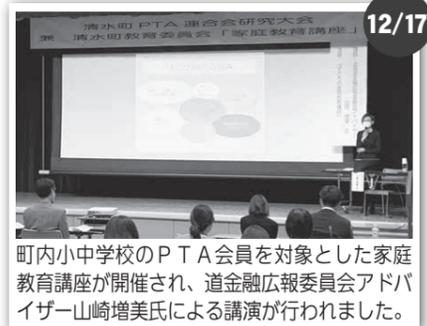
12/13

御影中学校アイスホッケー部の選手3名が全道大会の出場結果を報告し、山下教育長が労いの言葉を伝えました。



12/15

町議会議員の奥秋康子さんが、令和4年度の北海道社会貢献賞(自治功労者)を受賞し、町役場で伝達式が行われました。



12/17

町内小中学校のPTA会員を対象とした家庭教育講座が開催され、道金融広報委員会アドバイザー山崎増美氏による講演が行われました。



12/21

特賞受賞の長嶺さん
第30回牛乳消費拡大キャンペーンの当選者が発表。応募者数792名(1,177口)の中から、100名が当選しました。



12/22

クリーン開発(株)が、町へ路面凍結防止剤(焼き砂)5トンを寄贈し、地域貢献活動への感謝状が贈呈されました。

**清水ロータリークラブ
小中学校に車いす寄贈**
12月6日、清水ロータリークラブが、町内小中学校4校に車いす1台ずつを寄贈しました。
同クラブ創立60周年記念事業の一環として寄贈され、同事業実行委員長の藤井さんは「学校で車いすが必要という声を聞いたら、有効に使ってもらいたい」と伝えました。町校長会長の松橋校長は「中学校では、福祉の勉強にも活用でき、大変ありがたい」と感謝の気持ちを述べていました。



**一日限定のパン販売
高校生が幸せを届ける**
12月9日、清水高校2・3年生(生産技術系列食品分野)によるパン販売が、町文化センターで行われました。今回の販売は、学んできた技術を活かし、町民に幸せを届けることをコンセプトとしています。会場には、12種類70個程のパンが並び、販売開始から行列ができていました。店長の中里さんは「町民の皆さんに、パンで幸せを届けたい」と話してくれました。

**明るい新年へー
歳末防犯・交通安全運動**
12月16日、清水町歳末防犯・交通安全運動が町内で実施され、28名が参加しました。この運動は町生活安全推進協議会・町生活安全推進委員会が主催し、スパーなどで啓発グッズを配布。開会式では、新得警察署の野中署長から「皆様の地道な公安活動が、町民一人ひとりの防犯意識を高め、安心・安全な社会づくりに結びついている」と、参加者へ伝えられました。

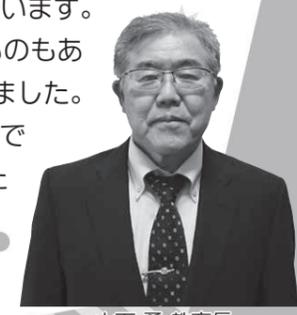


清水町のミライ予想図展

12月22日から25日まで、町文化センターで「清水町ミライ予想図展」が開催されました。開町120年を記念して行われた今回の作品展。町内の小中学生が描いた清水町の未来予想図など、全部で357点が飾られました。

作品展について、山下教育長は「小学生は子どもらしいユニークな発想が輝いている、中学生は現実的にまちの未来を考えてくれていると感じました。日々の学びへの真剣な取り組みが、作品という姿になって表れていたと思います。今後のまちづくりに活かせるものもあると感じました」と話してくれました。

清水町のミライがどう進んで行くのか、今を生きる子どもたちへの期待が高まる作品展となりました。



山下 勇 教育長



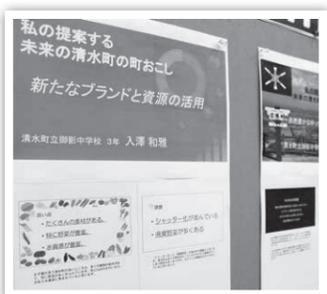
清水小学校



御影小学校



清水中学校



御影中学校



**アイスホッケー少年団
全道大会へ出場!**
12月21日、清水御影アイスホッケー少年団の選手10名が、山下教育長の元を訪れ、1月7日から苫小牧市で開催される「第43回全道小学生アイスホッケー選手権大会」出場へ向けての決意表明を行いました。
訪れた選手たちは「今のチームは、チームワークが良いので、たくさん声をかけ合って、絶対に優勝したい!」と、力強い言葉を述べていました。



どさんこジュニアオーケストラ



北海道十勝しみず吹奏楽団×清水中学校吹奏楽部



十勝しみず第九演奏会

どさんこジュニアオーケストラ特別公演

「未来につなぐ喜びの歌」

令和4年12月25日に「十勝しみず第九演奏会どさんこジュニアオーケストラ特別公演」が、町文化センターで開催されました。今回の演奏会は、開町120年を記念して企画され、延与幸恵さん（清水町出身）をはじめとしたソリストの皆さん、どさんこジュニアオーケストラ、十勝しみず第九合唱団、北海道十勝しみず吹奏楽団、清水中学校吹奏楽部の総勢258名が出演。息の合った演奏で、町民に感動を届けました。

今回、出演されたお二人に演奏会へ向けた意気込みを事前にお聞きしました。どのような想いで演奏会へ望んでいたのでしょうか——

当日の第九演奏会の写真とともにお楽しみください。

Interview 十勝しみず第九合唱団

第九の素晴らしさを伝えたいです



第九合唱団員
築地 晃代さん

第九合唱に初めて参加したのは、清水高校3年生の時でした。それ以来、タイミングが合わず参加できずにいたので、今回の第九演奏会に参加できて、本当にうれしいです。

十勝しみず第九合唱団は、6月から演奏会へ向けての本格的な練習を始めました。経験者の方を中心に自然と声をかけ合うなど、温かい雰囲気を感じます。

練習で苦労した点は、ドイツ語です。日本人が普段使わない発音なので、ちゃんと理解して覚えるのが難しかったです。私は第九が大好きなので、自分が第九を素晴らしいと思っている気持ちを、聴きにきた方全員に伝えられるように、本当に感動した！と思ってもらえるような合唱を届けたいです。

Interview 北海道十勝しみず吹奏楽団

新しいカタチでの参加は感慨深いです

十勝しみず吹奏楽団に入団したのは、昨年12月に開催された町のワークショップがきっかけです。清水高校時代に大バスの経験はありましたが、ユーフォニウムを演奏するのは、そのワークショップが初めてでした。最初は出る音の範囲が狭く、うまく出なくて焦りました。最近は同じ楽器を演奏するメンバーや上手な人も増えてきて助かっています。

第九演奏会は、オーケストラと合唱と一緒にステージに立ちますが、今回は吹奏楽団の出演もあり、新しい取り組みだと感じました。文化センター開館当時の歴史ある演奏会に、新しいカタチで参加ができて、感慨深い気持ちです。当日は、みなさんの足を引っ張らないように頑張ります！



吹奏楽団員
高橋 知行さん

北海道十勝しみず吹奏楽団が演奏した「樽屋雅徳 / マドックからの最後の手紙」は、町公式YouTubeうっちゃんねるで今後公開する予定です。右記QRコードより、ぜひご視聴ください▶▶▶



清水町開町120年記念

しみずフォトコンテスト



町内外の皆さんに、まちの魅力をもっと知ってもらうため『清水町開町120年記念しみずフォトコンテスト』を開催しました。令和4年6月から11月末まで作品を募集し、29名の皆様から計94点の作品が寄せられました!! その中から、見事入賞した5点の作品をご紹介します。

🏆 最優秀賞 🏆

『収穫を終へて』

撮影者：藤原輝也さん

【コメント】雨あがりの夕刻、採り入れを終えた牧草群がきれいに並んでいるのが珍しかったので、撮ってみました。



🏆 優秀賞



『桜日』

撮影者：赤川賢二さん

🏆 優秀賞



『ドレスアップ』

撮影者：三浦早智子さん

🏆 入選



『不撓不屈のペケレベツ川』

撮影者：村上亜樹子さん

🏆 入選



『染まる日高山脈』

撮影者：網影悦子さん



写真左から、三浦さん、赤川さん、藤原さん
写真右から、村上さん、網影さん

12月21日、入賞された5名の皆様に町役場にお招きし、表彰式が行われました。式では、阿部町長から受賞者へ賞状と副賞の目録が授与されました。

最優秀賞に輝いた藤原輝也さんは「町が主催するコンテストへの出品は初めてでしたが、このような賞を受賞できてうれしいです」と喜びの気持ちを話してくれました。

今回のフォトコンテストに応募いただいた作品は、今後町の発行物など様々な場面で活用される予定です。